

## 2. 火山の概況

(平成 18 年 2 月 17 日 ～ 平成 18 年 2 月 23 日)

### 【噴火が観測された火山】

- ▲ 三宅島 [やや活発な状況] : 17 日にごく小規模な噴火が発生し、山麓でごく微量の降灰があった。
- ▲ 桜島 [比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)] : 18 日に爆発的噴火が 1 回観測された。
- ▲ 諏訪之瀬島 [活発な状況 (レベル 3)] : 23 日に爆発的噴火が多発し、41 回観測された。

### 【活動が活発もしくはやや活発な状態である火山】

- 雌阿寒岳 [静穏な状況→やや活発な状況] : 18～19 日に火山性地震が多発し、火山活動はやや活発な状態となった。
- 十勝岳 [やや活発な状況] : 噴煙活動が活発で、62-2 火口の高温状態が続いていると推定される。
- 樽前山 [やや活発な状況] : A 火口及び B 噴気孔群の高温状態が続いていると推定される。
- 浅間山 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動は引き続きやや活発で、火山ガスの放出量や火山性地震のやや多い状態が続いている。
- 福徳岡ノ場 [やや活発な状況] : 23 日に変色水が確認された。
- 霧島山 (新燃岳) [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震のやや多い状態が続いている。
- 霧島山 (御鉢) [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火口縁を超える噴気が時折観測されており、火山活動はやや活発な状態が続いている。
- 薩摩硫黄島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 噴煙活動のやや活発な状態が続いている。
- 口永良部島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

### 【静穏な状態であるが観測データに変化のあった火山】

- ◇ 伊豆東部火山群 [静穏な状況] : 21～23 日に伊東市街の北東沖で地震がやや増加した。
- ◇ 阿蘇山 [静穏な状況 (レベル 1)] : 23 日に中岳火口付近を震源とする地震があり、山頂付近で震度 1 を観測した。火山活動には特段の変化はなかった。



図 1 今期間掲載した各火山の活動状況

注 1 本資料で示すレベルは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルである。

#### 注 2 記号の意味

- ▲ : 噴火が観測された火山
- : 活動が活発もしくはやや活発な状態である火山
- ◇ : 静穏な状態であるが観測データに変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字 : 火山活動度レベル

注 3 記事は、▲、● (注 2 参照) に該当する火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

## 【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状態である火山。◇：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

### ● 雌阿寒岳 [静穏な状況→やや活発な状況]

18日から火山性地震が多発し、火山活動はやや活発な状態となった。

18日00時頃から振幅の小さな火山性地震が増加し、18日516回、19日351回と多発した。1日あたりの地震回数は、1973年に観測を開始して以来最多であった（これまでの最多は1995年11月1日の300回）。地震回数はその後減少し、20日86回、21日42回、22日41回、23日14回と推移した。また、振幅の小さな火山性微動が18日に2回、19日に2回、20日に1回発生した。

監視カメラ（火口の南南東約16kmに設置）による観測では噴煙活動に特段の変化はなく、19日に上空から行った観測<sup>1)</sup>でも噴煙の様子や火口周辺に特段の変化はみられなかった。また、地殻変動にも特段の変化はなかった。

1) 北海道消防防災ヘリの協力による。

### ● 十勝岳 [やや活発な状況]

62-2火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね200mで推移した。噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、同火口の熱活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

### ● 樽前山 [やや活発な状況]

今期間、A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱活動に大きな変化はなく、依然として高温の状態が続いていると推定される。

### ● 浅間山 [やや活発な状況（レベル2）]

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね100mで推移した。今期間は天候不良の日が多かったこともあり、火映は観測されなかった。

22日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり400～900トンと前回（2月10日700～1,700トン）よりやや減少したものの、依然としてやや多い状態が続いている。

火山性地震はやや多い状態が続き、1日あたり32～55回で経過した。火山性微動は19日に2回観測された。傾斜計およびGPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

### ◇ 伊豆東部火山群 [静穏な状況]

21日昼頃から、伊東市街の北東沖、深さ約7～10km付近を震源とする微小な地震が発生し始め、22日夜から23日午後にかけてやや増加した。最大地震は23日05時35分に発生したM（マグニチュード）2.2（暫定）で、この地震も含め震度1以上を観測した地震はなかった。火山性微動及び低周波地震は観測されなかった。

また、21日昼頃から、東伊豆町に設置している体積歪計<sup>ひずみ</sup>や伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計にわずかな変化がみられている。

この付近では過去にもしばしば地震活動が活発化しており、今年1月25～27日にも川奈崎付近で地震がやや増加し、上記の体積歪計や傾斜計にわずかな変化がみられた。

### ▲ 三宅島 [やや活発な状況]

17日にごく小規模な噴火が発生し、山麓でごく微量の降灰があった。噴火が観測されたのは平成17年5月18日以来である。

17日19時から24時にかけて火口直下を震源とするやや低周波の地震が増加し、空振を伴う振幅のやや大きい低周波地震が4回発生した。そのうち22時38分及び23時34分の地震では三宅村神着で震度1を観測した。噴煙の状況に特段の変化はなかった。18日に行った現地調査で、山頂火口の東～東南東

側約 3 km (坪田地区) の狭い範囲でごく微量の降灰が確認された。空振を伴う振幅のやや大きな低周波地震が発生した頃に小規模な噴火が発生したと推定される<sup>2)</sup>。17 日の地震回数は 150 回に達したが、その他の日は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、噴煙高度は 18 日に火口縁上 800~1,000m とやや高かったが、その他の日は概ね火口縁上 300m で推移した。

2) 三宅島では、空振を伴う低周波地震が発生した時に山頂火口から火山灰噴出を伴うことがある。

### ● 福德岡ノ場 【やや活発な状況】

23 日に海上保安庁が上空から行った観測によると、福德岡ノ場を中心とした半径約 300m の範囲内に、火山活動によるとみられる薄い緑色の変色水が確認された。また、変色水の南端付近に、東西に延びる筋状の幅約 10m、長さ約 300m の白色の浮遊物らしきものが確認された。

### ◇ 阿蘇山 【静穏な状況 (レベル 1)】

23 日 06 時 20 分に、中岳火口付近を震源とする M1.8 (暫定) の地震が発生し、南阿蘇村中松 (山頂付近の震度観測点) で震度 1 を観測した。火山活動には特段の変化はなかった。

### ● 霧島山 (新燃岳) 【やや活発な状況 (レベル 2)】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている (今期間 50 回、前期間 117 回)。火山性微動は 23 日に 1 回観測されたが、振幅の小さな継続時間の短いものであった。傾斜計及び GPS による地殻変動観測では特段の変化はなく、監視カメラ (火口の南約 7 km に設置) による観測でも火口縁を超える噴気は観測されなかった。

### ● 霧島山 (御鉢) 【やや活発な状況 (レベル 2)】

御鉢火口では火口縁を超える噴気が時折観測されるなど、火山活動はやや活発な状態が続いている。18 日に火口縁上 100m の高さの噴気が観測された。

19 日に火山性微動が 1 回観測されたが、振幅の小さな継続時間の短いものであった (前期間は 15 日に振幅のやや大きな火山性微動を観測)。地震活動及び地殻変動には特段の変化はなかった。

### ▲ 桜島 【比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)】

期間中、爆発的噴火が 1 回観測された (前期間は噴火なし)。18 日 10 時 25 分に爆発的噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 900m まで上がった。期間中、鹿児島地方気象台 (南岳の西南西約 11km) で降灰は観測されなかった。

火山性地震は B 型地震<sup>3)</sup> が時々やや多く発生しており、19~20 日及び 22 日には 1 日あたり 33~36 回観測された。火山性微動は観測されなかった。地殻変動には特段の変化はなかった。

3) 火山性地震には、通常の構造性地震と同じような P 波、S 波が明瞭で高周波の波動からなる A 型地震と、位相が不明瞭な低周波の B 型地震がある。桜島の A 型地震はマグマ等の貫入に伴い地殻が破壊されるために発生していると考えられ、B 型地震はマグマ内の火山ガスの発泡等によって火道内で発生する地震とされている。

### ● 薩摩硫黄島 【やや活発な状況 (レベル 2)】

噴煙活動は依然としてやや活発で、白色噴煙が硫黄岳火口から連続的に噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過した。

### ● 口永良部島 【やや活発な状況 (レベル 2)】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている (今期間 30 回、前期間 39 回)。火山性微動は観測されなかった。期間中、監視カメラ (新岳の北西約 4 km に設置) による観測では噴気等は認められなかった。

### ▲ 諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

23日10時頃から爆発的噴火が多発し、23日の爆発的噴火の回数は41回であった。爆発的噴火の多発は今年2月6～9日にもみられており、その際は1日あたり20～62回の爆発的噴火が観測されている（図2）。

噴火活動は22日昼頃から活発になり、しばしば火山灰を含む噴煙が観測され<sup>4)</sup>、22～23日の噴煙高度の最高は火口縁上1,000mであった。噴煙は主に南東方向に流れ、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約4km）では降灰はなかったが、23日に切石港（御岳の南約3.5km）で少量の降灰があった。また、23日10時30分頃からは集落で鳴動<sup>5)</sup>が聞こえた。噴火活動に伴って、22日13時頃から振幅のやや大きな火山性微動が連続的に観測されている。

噴火は17日及び18日にも観測され、火山灰を含む噴煙が火口縁上200～600mまで上がった<sup>4)</sup>。前期間から連続的に観測されていた振幅のやや大きな火山性微動は17日15時頃まで続いた。

4) 十島村役場諏訪之瀬島出張所からの報告及び監視カメラ（御岳の北北東約25kmの中之島に設置）の観測による。

5) 火山活動に伴って聞こえる音のことで、「ゴー」という低い音で聞こえることが多く、噴火や活発な噴煙活動などが原因と考えられている。地震動に伴う音響は一般に地鳴りと呼ばれているが、火山周辺ではこれも鳴動と呼ばれることがある。爆発的噴火に伴って聞こえる爆発音は鳴動と区別される。

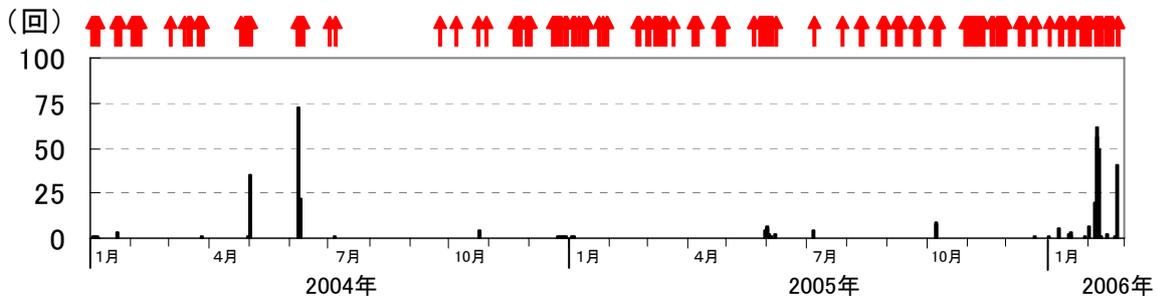


表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	吾妻山		草津白根山		浅間山		伊豆東部火山群	伊豆大島		三宅島	福徳岡ノ場	九重山		阿蘇山		雲仙岳		霧島山（新燃岳）		霧島山（御鉢）		桜島		薩摩硫黄島		口永良部島		諏訪之瀬島	
					記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル		記号	レベル			記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル
8	2/17-2/23	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	▲	●	①	◇	①	①	①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	②	▲	③		
7	2/10-2/16	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	●	●	①	◇	①	①	①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	②	▲	③		
6	2/3-2/9	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	●	●	①	◇	①	①	①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	②	▲	③		
5	1/27-2/2	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	●	●	①	◇	①	①	①	●	①→②	●	②	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③		
4	1/20-1/26	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	●	●	①	◇	②→①	①	①	①	◇	①	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
雌阿寒岳	火山観測情報第 1 号	18 日 16:05	18 日 00 時以降、火山性地震が増加。
	火山観測情報第 2 号	19 日 15:10	火山性地震の多い状態継続。19 日に行った上空からの観測結果。
浅間山	火山観測情報第 7 号	17 日 16:00	2 月 10 日～17 日 15 時の活動状況。レベルは 2。
三宅島	火山観測情報第 48～54 号 (1 日 1 回発表)	17 日～23 日 16:30	前日 16 時～当日 16 時の活動状況及び上空の風の予想。
霧島山	火山観測情報第 5 号	20 日 15:10	新燃岳の火山性地震及び微動の発生状況。御鉢で 15 日に振幅のやや大きな火山性微動が発生。レベルは新燃岳、御鉢共に 2。
諏訪之瀬島	火山観測情報第 3 号	23 日 13:40	23 日 10 時頃から爆発的噴火が多発。レベルは 3。